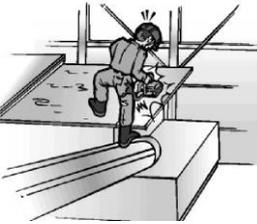


(丸ノコによる傷症)防止 予想される災害と対策 重点実施事項 及びポイント

	予想される災害	防止対策	重点実施事項	ポイント
1)	レバースイッチを誤って押す	切断位置決める時は、レバースイッチをよく確認し、誤作動させない様注意して使用する事を周知する。	レバースイッチのふれない所を持って、切断位置決めをする事を徹底する手元の安全確認を必ずしてから、落ち着いて切断する。	チョイ切り時は危ない!! あわてた時が、危ない!!
2)	がイトと丸ノコ刃の隙間が広い為(隙間6cm有り)材料(30cm桟木)を10mm切断時回転して引っ張られる	長さ5cm以下の切断時は背面がイトの片側だけに材料がかかる状態となる背面がイトと丸ノコ刃の隙間が広いと回転して引っ張られる力が大きくなるので、がイトと丸ノコ刃の隙間を狭くする様、がイトに当て木等を設置して回転しない様処置な処置する事を指導する。	がイトと丸ノコ刃の隙間が1cmとなる様がイトに当て木(堅木)をビス止め固定する。	短い材料の切断時は特に注意!!
3)	卓上丸ノコ使用時危険な工具を使用している事の認識が薄くなる(電動工具に対する慣れ)	 <p>機械工具の使用について、危険な工具を使用している事の再認識(電動工具に対する慣れ防止)及び不安全な使用方法の禁止を周知徹底する</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ① セーフティカバー(保護カバー)は、絶対に固定しない又、円滑に動く事を確認して使用する。 ② 長物材切断時、材料の重みでノコ刃がはさまみ付けられないように、切断する材料の受け台を設ける。 ③ 使用中は、ノコ刃や回転部及び切り屑の排出部へ手や顔などを近付けない。 ④ 材料切断後、ノコ刃が、完全に停止してからハンドルを持ち上げる。(材料切断後ノコ刃を回転させたままハンドルを持ち上げると材料がノコ刃に巻き込まれて飛散する為) ⑤ 使用中、機体の調子が悪い時、異常音がした時は直ちにスイッチを切って使用を中止し修理に致します。 ⑥ ノコ刃のビビ、割れ、切れの良し悪しを確認して使用する。 ⑦ 回転部分に巻き込まれる恐れがあるので手袋の着用はしない。 ⑧ 作業前に、周囲の安全を確認してから空転させ、機体の振動やノコ刃の面振れ等異常の有無を確認する ⑨ 作業前、ブレーキの効き具合確認する。 ⑩ 切断材料に釘等の異物がないことを確認する。(刃こぼれだけでなく、反発により思わぬケガの原因となる) ⑪ 電源に繋いだ状態で移動させない。 	<p>始業前点検表を活用する!!</p> <p>電動工具の始業前点検 ヨシ!!</p> 
4)	電動工具使用時慣れによる集中力の低下がある(マン初化)	個々の安全意識の向上を推進し再発防止に努める「自分の身は自分で守る」意識を高めてマン初化防止を図る	<p>送り出し教育 事業主ハロー 安全会議(2次会社共)にて重点的に下記事項注意喚起 周知徹底する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 一人作業では単純繰り返し作業時、作業に没頭しすぎて不安全行動をしている事があるので注意喚起する。 ② 作業を早くする事ばかりに気が向いていると、あわてたり、気持ちのゆとりがなくなるので、おもわぬケガをする事がある。気持ちにゆとりを持って作業に 当たるよう注意喚起する。 ③ 事故が発生すると、周りの仲間や関係者に大変な迷惑をかける事重大性を教育する。 	<p>適度の休憩で心も身体もリフレッシュ!!</p>